

コード	401040203
記入日:	H22.6.11

課コード	116
課名	水産課
課長名	太田均
担当者	横道藤隆

事務事業事後評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	水産鮮度保持施設改築事業費補助事業
----------	-------------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 21 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40104	基本事業名称	漁業経営近代化の推進	目コード	2
事務事業コード	4010402	事務事業名称	新世紀水産業育成事業補助金費(経営近代化)	細目コード	856
関連計画	法令・条例規則等		強い水産業づくり交付金実施要綱		

計画(PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	漁協	(対象指標1)	1漁協			
(対象2)	漁業者	(対象指標2)	454名			
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率(上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	新魚目町漁協が主体となり、製氷貯氷施設(製氷能力10トン/日、貯氷能力30トン)を新設する事業補助	*****	*****	*****	補助金交付件数1件÷補助金交付件数1件	*****
①		補助金交付件数	1件	100%		平成21年度
(達成率分析)		製氷貯氷施設(製氷10トン/日、貯氷30トン)の建設完成を確認し、額の確定を行った。				
*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****
②	(達成率分析)					
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率(上段:全体、下段:評価年度)				
組合員に対する氷の安定供給が図られる。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
	*****	*****	*****	1式÷1式	*****	
	①	製氷貯氷施設	1.0式	100%		平成21年度
(達成率分析)	計画どおり製氷施設が完成した。					
*****	*****	*****	*****	*****	*****	
②	(達成率分析)					

実施(DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 21 ~ H 21		平成20年度以前	平成21年度		
		計画	実績	実績	計画	実績	
活動指標	① 件	1.0	1.0		1.0	1.0	
	②						
成果指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0	
	②						
総事業費C(A+B)	千円	34,000	32,900		34,000	32,900	
直接事業費A	千円	33,300	32,200		33,300	32,200	
人件費B	千円	700	700		700	700	
内訳	従事職員数	人	0.1		0.1	0.1	
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	
Cの財源内訳	国補助金	千円					
	県補助金	千円					
	起債	千円	33,300	32,200		33,300	32,200
	その他	千円					
一般財源	千円	700	700		700	700	

コード 401040203

評価(CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 漁業協同組合が事業主体となる施設整備であることから、組合員に対する利便性の向上につながるため、必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 既存施設が28年経過し、老朽化が著しいため建て替えが必要である。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由 漁獲物の鮮度保持に必要な氷が安定的に供給されることから、目的は適正である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由 安定供給される氷を使用することで、漁獲物の鮮度保持が図られた。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 組合員の利用度を上げる努力が必要である。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 氷の供給に支障が出て、鮮度保持が出来なくなる可能性がある。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 類似事業が無いため
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 必要最低限の事業費としており、削減は出来ない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 事業実施のための必要最低限の人員であり、削減は出来ない。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由 補助要綱に沿った適正な負担をしている。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点 現在のところ、計画を見直す必要は無い。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 なし
2次評価	水産物の鮮度維持に必要。漁協に対する補助については十分協議のうえ適正に執行すること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。